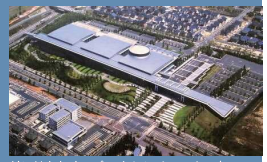
総合特区の支援措置の活用事例

規制の特例措置

国有財産法の特例により、旧「私のしごと館」の国から京都府への無償譲渡が実現し、「けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）」が整備されました。産学連携による研究事業が展開されているほか、「京都スマートシティエキスポ」等の大規模イベントの会場として使用されるなど、スマートコミュニティ分野を軸とした国際的なオープンイノベーション拠点形成の取組が進められています。



けいはんなオープンイノベーションセンター

財政上の支援措置

総合特区推進調整費（※）を活用し、神戸医療産業都市に創薬イノベーション拠点「神戸医療イノベーションセンター」が整備されました。革新的医薬品、再生医療等の研究開発を加速化するために、製薬関連企業や創薬ベンチャーなどの入居スペースや再生医療等の製品開発にも対応可能な細胞培養スペースとともに、入居企業に対するマッチングや製品化支援などの充実したソフト支援体制を備えています。

※総合特区推進調整費：総合特別区域計画の実現を支援するため、各府省の予算制度を重点的に活用した上でなお不足する場合に、内閣府から各府省予算に移し替えて機動的に補完するものです。



神戸医療イノベーションセンター

税制上の支援措置

産業の国際競争力強化のための法人税の軽減措置が受けられます。総合特別区域計画に合致する事業の用に供する機械・装置・研究施設等の設備取得に係る税負担を軽減するものであり、大阪府茨木市の彩都ライフサイエンスパーク内に立地するライフサイエンス分野の関連企業等をはじめ、京都府、大阪府、兵庫県域の数多くの事業者の取組が支援されています。

金融上の支援措置

総合特区の推進に資する事業に必要な資金の金融機関からの借入れに対して、総合特区支援利子補給金の支給が受けられます。大阪府域では、核酸医薬の製造に係る生産技術の確立などに活用されており、事業者の金利負担の軽減を図ることで、円滑な事業実施に寄与されています。

支援措置を受けるまでの流れ

総合特別区域の指定
※設備投資を行う事業所等の所在地について国から区域指定を受ける必要があります

▶

総合特別区域計画の作成・認定
※関係自治体と協議し、計画を策定し、国から認定を受けます

▶

各種支援措置の個別手続
※課税の特例に係る法人の指定を受けるなど必要な手続を行います

国家戦略特区との連携

関西では、京都府、大阪府、兵庫県の全域が、「健康・医療分野における国際的イノベーション拠点の形成」などを目指す関西圏国家戦略特別区域に指定されています（平成26年5月）。関西イノベーション国際戦略総合特区における事業推進のための新たな規制改革については、必要に応じ、国家戦略特区と連携することで実現を目指します。

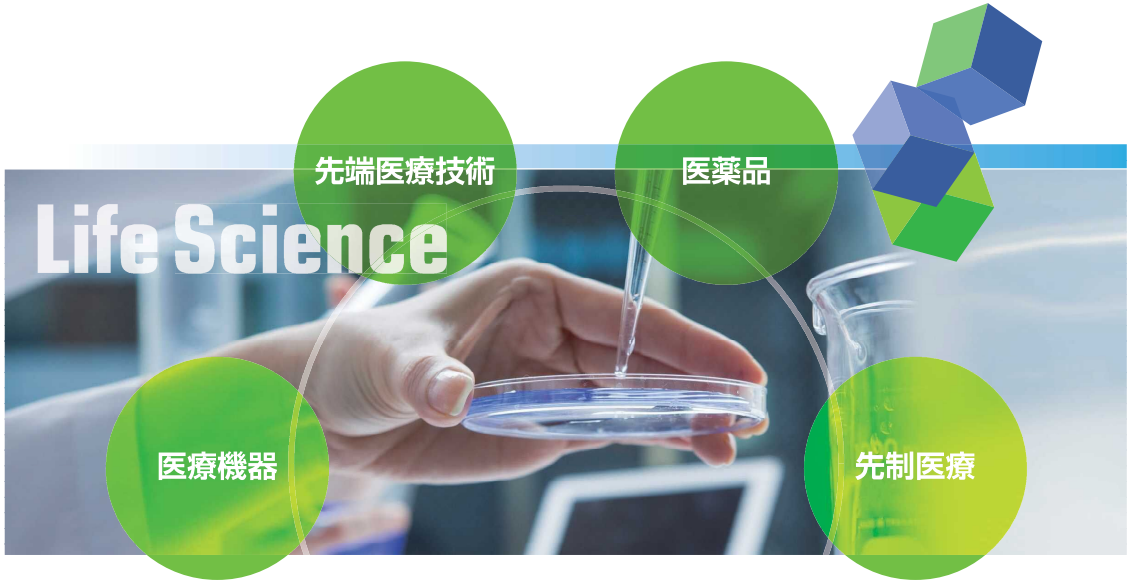
■ お問い合わせ

関西国際戦略総合特別区域地域協議会事務局
〒559-8555 大阪府大阪市住之江区南港北1-14-16
（大阪府咲洲庁舎34階 スマートシティ戦略部特区推進課内）
TEL 06-6210-9099　FAX 06-6210-9101
http://kansai-tokku.jp/

関西イノベーション国際戦略総合特区　検索

関西の高いポテンシャルを活用し
日本の国際競争力を強化する

関西イノベーション国際戦略総合特区



特区を活用してイノベーションを創造



http://kansai-tokku.jp/

ライフサイエンス分野・エネルギー分野で日本の発展・成長を牽引し、アジア市場でのイニシアチブ獲得を目指します。

関西イノベーション国際戦略総合特区では、
重点6分野（医薬品・医療機器・先端医療技術・先制医療・バッテリー・スマートコミュニティ）において
新たな事業展開を図ろうとする企業を、
国・自治体、経済団体が一丸となってサポート。
規制の特例措置に加え、財政・税制・金融上の
支援措置が総合的に実施されます。

播磨科学公園都市地区



●大型放射光施設「SPring-8」、X線自由電子レーザー施設「SACLA」等最先端の科学技術基盤を活用した創薬や次世代省エネ材料の開発

北大阪地区



●新薬開発 ●革新的医療機器の創出
●再生医療やBNCT（ホウ素中性子捕捉療法）など先端医療技術の確立
●スマートコミュニティのビジネスモデル構築

京都市内地区



●京都大学など世界屈指のライフサイエンス系研究機関や企業の立地を活かした創薬や医療機器、再生医療分野における研究開発

KYOTO

けいはんな学研都市地区



●旧「私のしごと館」を活用したスマートコミュニティオープンイノベーションセンターの整備
●次世代エネルギー・社会システム実証事業の推進

HYOGO

Life Science





Energy

神戸医療産業都市地区



●最先端医療技術の実用化 ●医療機器の実用化
●医療機器の研究開発支援 ●先制医療の基盤形成
●スーパーコンピュータ「京」を活用した革新的な創薬開発など

KOBE

OSAKA

阪神港地区

神戸港



大阪港



●基幹航路を維持・拡大するための集貨機能の強化
●産業の立地促進による創貨など

関西国際空港地区



●空港における総合的な水素活用モデルの構築
●世界水準の医薬品物流品質
●貨物ネットワークの拡充

夢洲・咲洲地区



●再生可能エネルギー等を利用した電力インフラシステムの構築やバッテリー戦略推進センター機能の整備など、環境・エネルギー技術を中心とした事業の展開

大阪駅周辺地区



●ナレッジキャピタル（知的創造拠点）を中心に、環境、医療分野等の事業を展開し、アジアの新産業創出拠点の形成を促進

●上記地区外であっても総合特区の支援措置の対象になる場合がありますので、事業をお考えの方は一度ご相談ください